



ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

第6話 「お昼の校内放送で告白するために

放送ジャックしたけど告白相手欠席してた」

【登場人物】

放送部員

長谷川



SE 教室スピーカーからクラシックと共にチャイム

放送部員 「皆さんこんにちは。4月18日。お昼の放送です。4月18日は発明の日です。これは専売特許条例が発令された日です」

長谷川 「こんにちはー……！」

放送部員 「えー……？」

長谷川 「2年C組の長谷川ですー！」

放送部員 「え、いや、放送中ーえ、どういっ……？」

長谷川 「分かります、分かりますー！分かるんですけど、今からこの放送は僕がジャックしますー！」

放送部員 「えっ……？」

長谷川 「早速ですが、2年A組の田村さんに伝えたい……ことがありますー！」

放送部員 「何ー……？」

長谷川 「今日、この発明の日に敢えて伝える必要は……ないんですけど」

放送部員 「無いならジャックしないで！」

長谷川 「今日しか放送ジャックできなかったんで、進めます」

放送部員 「今日も明日も放送はジャックしちゃダメなんだよ？」

長谷川 「校長にも同じ」と言われたから大丈夫」

放送部員 「全然、大丈夫じゃない」と言ってるじゃん」

長谷川 「俺は！ジャックしてでも田村さんに伝えたいんだよ！俺はオー！」

放送部員 「うるすっ！ー！大声で押し切ろうとしてもダメだからね？」

長谷川 「田村さんは学校で一番可愛い。」

それは全学年の男子が思ってる」どで、俺もその一人で」

放送部員 「平然と放送ジャック続けないで」

長谷川 「1年の時に仲良くなってから皆で色んなところに行ったよね。」

学校近への」ンビ」。2人の家の最寄りの」ンビ」。俺がトイレに行きたくて寄ってもらった」ンビ」

放送部員 「全部」ンビ」

長谷川 「コンビニで2人の仲は深まったと思うんだ」

放送部員 「やっぱコンビニ…」

長谷川 「田村さんは可愛いただけじゃなくて内面も本当に素敵で、とにかく優しい。怒らない。包容力がある。涙脆いところも好きだし、例えるなら俺の母ちゃん」

放送部員 「マガコンのカミングアウト？」

長谷川 「ここまで言ったら、田村さんにも全校生徒の皆にも俺が何を伝えたくて放送ジャックしたか伝わってると思う」

放送部員 「やっと本題？」

長谷川 「田村さん……借りた金の返済待つて欲しい……！」

放送部員 「クズ告白だった」

長谷川 「お金を借りたこと自体が間違いだった。俺は君の優しさに甘えてしまった。本当に俺のダメなところだと思う。でもやり直したい。君の信頼を失いたくない」

放送部員 「始まってすらいらないのに何をやり直したいのか全く分からなくて怖い」

長谷川 「あと一カ月…いや一年待つってほしい」

放送部員 「信頼を失いたくない奴の期間じゃないだろ」

長谷川 「一年は長いと思うけどちゃんと理由があつて……」

改まって言うけど……金がない」

放送部員 「ちゃんとしてない理由だな」

長谷川 「田村さんもびっくりしたと思う。でもこれには理由があるんだ。

少し重い話になるから今まで中々話せなかったけど、今、田村さんにだけは伝えておきたいと思う」

放送部員 「全校放送だけだね」

長谷川 「そう。俺の金は…ゲーセンに逃げ込んだ」

放送部員 「明確にクズ」

長谷川 「最初はそんなつもりじゃなかった。レバーを叩く度、田村さんの悲しそうな顔が脳裏をよぎって自分との戦いに必死だった」

放送部員 「毎回脳裏をよぎっているのに続けたの？」

長谷川 「でも7が揃ったときに脳裏をよぎった田村さんは笑顔だったよね」

放送部員 「きつしゅ」

長谷川 「今頃、田村さんは怒ってるよね。その怒りはゲーセンにスロット置いたやつにぶつけて欲しい」

放送部員 「責任転嫁が酷すぎる」

長谷川 「俺もゲーセンにスロット置いたやつには罪を償って欲しいって思った。でもバイト先のゲーセンに置いてもらうように頼んだの俺だった」

放送部員 「お前かよ」

長谷川 「俺が勝てないのは俺のせいじゃない！店が出さないのがいけないんだー！」

放送部員 「典型的スロッターの発言」

長谷川 「俺が馬鹿なことでも優しいのが田村さんだと信じてる。俺の中の母ちゃんは田村ちゃんのこと」

放送部員 「全校放送でマザコンと借金とギャンブル中毒の告白しに来たの？」

…ん？…顧問に賄賂渡すお金はあったんだよね？」

長谷川 「放送部の顧問には俺の秘蔵フォルダ渡した」

放送部員 「あ、言わないで」

長谷川 「ウチで飼ってる猫の写真200枚入ったフォルダ」

放送部員 「賄賂が健全」

長谷川 「先生には感謝してもしきれないです」

放送部員 「田村さんはどっいったんだよ」

長谷川 「来月中…いや卒業までに必ず返します」

放送部員 「しれっと伸ばすな」

SE 「扉が開く音」

他の生徒 「長谷川ー今日田村休みだつてよー！」



長谷川 「マジかーじゃあ、」そのままジャックして俺の恋愛観語るわ!」

放送部員 「もう帰って」